

令和7年度 栄南中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：33009

「学ぶ力」	
これまでの成果	課題
◇全国学力・学習状況調査結果から「ICT機器を活用する際、友達と協力しながら学習を進めることができた」という生徒の割合が向上している。 ◇グループワークの実践により「人の意見を参考に、自分の考えを見直すことがある」という生徒が多いことが、札幌市共通指標から明らかになった。	◇全国学力・学習状況調査結果から「ICT機器を活用する際、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができた」という生徒の割合が低い実態が見られる。 ◇札幌市共通指標から「自分の意見を進んで発言しようとしている」という生徒の割合が昨年度より増加したものの、依然として課題だと捉えることができる。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
◇自己肯定感の低下が課題であったここ数年、「多様な価値観を理解し認め合う環境づくり」を学校全体で意識して取り組んできた。札幌市共通指標の「自分にはよいところがある」という項目においては、2年連続で肯定的な回答が増加している。今後も生徒同士が支え合うような活動を通して自己肯定感を高めるとともに、誰もが失敗を恐れずに安心して挑戦できる環境づくり、挑戦への後押しが重要となる。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

「対話力」と「自治力」の習得

	AARサイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の充実
取組	◇研究主題：人や学びがつながる指導方法の工夫 ～主体的・対話的で深い学びの実践を通して～ ・生徒同士のつながり（対話を通じた深い学び、ピアサポート） ・地域社会とのつながり（職業体験学習等） ・他教科とのつながり（教科横断的な学習） ⇒学びのコントローラーをもつ子ども自身の興味関心を様々な「つながり」から引き出す	◇よりよい学年にするための各学年委員会の充実 ⇒学級及び学年の課題を、各学年委員会にて整理 ⇒学年協議会を中心に、自治活動によるよりよい学年づくり ◇よりよい学校にするための生徒会活動の充実 ⇒生徒会主導による、いじめ防止スローガンづくり ◇子どもが「～したい」を実現する行事の充実 ⇒部門別学校祭を通じた自己選択と意思の実現 ⇒合唱交流会を通じた異学年間交流

〈本プログラムの実行に向けて〉

